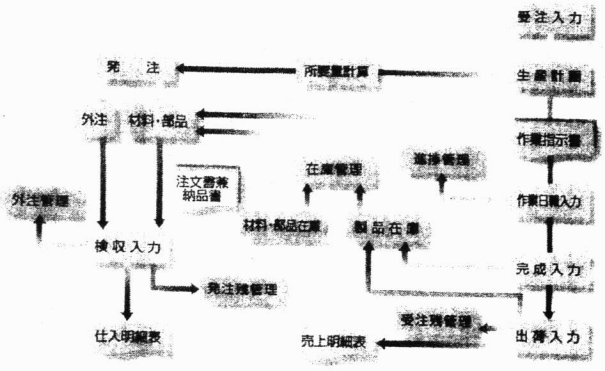
業技術新聞

平成17年（2005年）3月10日　木曜日

一品生産型・繰り返し生産型
「生産管理システム」が話題
システムクリエイト



システム概要フロー（繰り返し生産型）

システムクリエイト（神奈川県相模原市相模原一―一二五・アーベイン、☎一四二―七七六―五〇七五）は、二月二日～四日までパシフィコ横浜で開催された「TSUNAMIベンチャーフェア2005」に、一品生産型・繰り返し生産型「生産管理システム」を出展、来場者より注目を集めると共に好評を博した。

「生産管理システム」では、▽原価管理▽在庫管理▽工程進捗管理▽外注管理▽受注・発注管理▽検収・出荷管理などの業務を効率よく管理することができる。同システムの独自の特長により、最大のメリットを生み出す。

特長のひとつは、モジュール・コーディネート方式の採用。生産管理においての各部署ごとに必要な機能をモジュール化（独立したユニット）しているので、規模や管理項目を必要に応じて自由に組み合わせることができる。

パッケージソフトの最大のメリットは、オーダーメイドシステムと比較して、ローコストでシステム構築が可能であること。

一貫したコーディング規約の踏襲と、幅広い管理方式に対応できる設計になっているため、拡張性、メンテナンス性が大幅に向上する。これにより、固有のビジネスルールのカスタマイズが最小限の工数で実現できる。カスタマイズを安価に迅速に対応できるのも、特長。

システム制作は全て、グラフィカルなインターフェースを使用。シンプルな操作で確実な運用を実現する。システム動作に必要なハードウェアやOSサーバなどに対する条件を、大幅に削減。これにより既存資源の利用、予算や規模に合わせた機器導入を検討することができる。

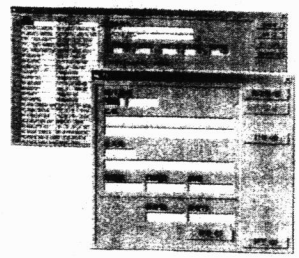
長時間の作動試験と納入実績を基に、既存のパソコンにも柔軟に対応できるように設計されている。また、データは自由に取り出して市販のオフィスソフトで利用可能。市販の経理ソフトとの連携を取った事例もたくさんある。

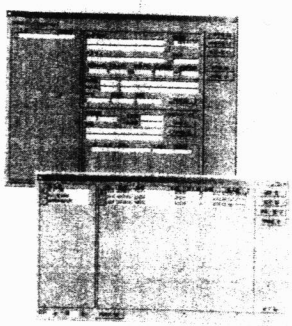
ネットワーク構築など、同社の経験豊富なスタッフが対応する。保守サービスは、通信回線による「リモート方式」で行っている。遠方のユーザにもリアルタイムで対応する。

次の九種類のソフトを用意。業種別に――、

①機械工業（機械器具製造、金型、精密機械器具製造など）②金属工業（金属製品製造加工、メッキ・塗装・研磨・熱処理など）③電気機械器具製造業（電子機器製造、プリント基板製造など）④輸送用機械器具製造業（自動車部品製造、車両用電装品製造など）③住宅設備機器製造業（住宅機器製造、アルミサッシ製造、金属製建具など）⑥木工業（木工、家具、木型など）⑦化学工業（プラスチック加工、ウレタン加工、ゴム・スポンジ加工など）⑧食品工業（食品加工、水産加工、調味料製造）⑨紙加工製品製造業（段ボール製造、紙器加工、製袋加工など）――各生産管理システムをサポートする。

URL：http://www.systemc.co.jp





パソコン出力画面例

工業技術新聞

発行所
工業技術新聞社
大阪市福島区吉野2丁目15番1号（松井ビル）
電話06(6225)0355㈹
購読料1年12,000円
毎月10・20・30日発行

ENEX2005／ナノバイオEXpo2005／新機能性材料展／TSUNAMIベンチャーフェアc h a n o t e 2005／NET&COM2005／JAPANドアエクスプロー2005／テクニカルショー／東京国際ポートショー／ギフト・ショー／ストアショー／ラッピングショー